

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

東京都農林総合研究センター 森林・林業関係研究発表会の開催



東京都農林総合研究センターでは、豊かな森づくりに貢献するため、東京の森林・林業が抱える諸課題の解決に向けた試験研究に取り組んでいます。

このたび、実施した試験研究、調査等の成果について、発表会を開催いたします。森林・林業関係者の皆様はもとより、東京の林業に関心のある都民の皆様の来場をお待ちしております。

日時：平成23年5月26日（木） 15：00～16：00

※林業普及協会総会が延びた場合、開始が遅れる場合がございますのでご了承願います。

場所：農林総合研究センター日の出庁舎（東京都森林組合）研修室

プログラム

1. 開会の挨拶 15：00
2. 研究発表（座長：緑化森林科長 小寺孝治）
 - （1）作業道の特徴とは？ 15：05～15：20
荒川純彦
低コストで災害に強い作業道づくりを進めるために、多摩地域の森林で作設された作業道の実態を調査しました。勾配やカーブ、構造物の種類などの特徴を紹介します。
 - （2）間伐するとどのような植物が出てくるのか？ 15：20～15：35
奈良雅代
スギやヒノキの林は放置されると暗い林となり荒廃が進みます。そこで、林内に光を入れることを目的に間伐を行った場合に、植生や生育してくる植物の種類などを明らかにしました。
 - （3）多摩の森林ではシカは何頭生息できるか？ 15：35～15：50
中村健一
多摩の森林においてニホンジカが何頭生息することができるのか、栄養学的環境収容力という手法を使って試算しました。
3. 閉会 16：00



お問い合わせ先
東京都農林総合研究センター
緑化森林科 小寺・荒川
TEL 042-528-0538（タヤルイ）